

社会福祉法人尾道さつき会 尾道福祉専門学校
令和3年度 第1回教育課程編成委員会議事録

1. 日時 令和3年9月28日(火) 15:30~16:30

2. 場所 尾道福祉専門学校 オンライン会議

3. 出席者

広島国際大学 健康科学部 客員教授 久保田トミ子氏

社会福祉法人泰清会 サンライズマリン瀬戸 施設長 久保田あけみ氏

株式会社ゆず 代表取締役 川原奨二氏

校長 工藤博道 係長 邑岡志保 教務主任 金子清美

4. 議題

①はじめに

オンラインでの会議の開催について、新型コロナウイルスによる感染対策を踏まえた上での説明を行う。今年度も、引き続き感染状況により、新学期からのオンライン授業や分散登校など学校の状況を説明する。高校生対象のガイダンスの参加やオープンキャンパスの参加の人数は昨年よりも減少しているが、入学希望者数は変わらないと思われる状況である。

資料の入学状況一覧表にて入学者数の推移や市町別の学生数の説明を行う。福山方面の学生が増えている。愛媛県からの県外の学生がおり、一人暮らし支援制度月2万円の支援を設けている。就職状況について地元への就職者が多い。昨年、本年とも1名の大学への進学者がある。

2021年度入学生について、今年入学のベトナムからの2名は、話すことが難しさを感じている。

委託生の人数は、景気が低下しているが、訓練生の数は増える傾向はあまりみられないようだ。

②WEB授業について

資料は、前期の全科目15コマを行った日時の表である。感染対策のためオンライン授業を行った。黄色の部分は、前期後半には、1・2年生の授業を午前か午後に分散し、マスクを外して感染の機会となりやすい昼食をとらないように時間割を調整した。赤い部分が8月末の時点で実技の実施ができていない部分である。1年生は、第5波が下りになりつつあるこの9月中旬に実技を集中講義で実施した。2年生は、後期になって、感染が落ち着くと思われる11月に予定している。白い部分が、もともと3月末に予定していた授業の通りに実施できたところである。後期は、1・2年生の授業を午前か午後に分散を続け、あらかじめ科目の多い1年生の授業を週1回はオンラインで実施する予定である。

③カリキュラム・介護実習について

生活支援技術Ⅲ・Ⅳ以外は、進行表通りに進んでいる。介護実習は、1年生は、実習Ⅰ-①の前半で、福山方面の実習施設で緊急事態宣言期間の受け入れは難しいとの申し出があり、3名の学生が3日前後実習を残して終えている。

2年生は、現在実習Ⅱの後半にある。PCR検査の実施や学生本人や同居家族、よく会う人等の健康観察や行動の把握を行い、記録し、実習施設に提出するようにし、注意事項を具体的に、再三伝えている。

資料では 2021 年度の行事等が入っている。11 月に介養協の学会の団体参加を行う予定である。授業外での行事や活動の機会を作るように配慮している。

④留学生について

福山市の社会福祉法人から、生活と学びのバックアップを受けている。自動車の免許の取得ができた。成績は良好である。日本語の習得を進めるためにクラス内での交流を進め、席やグループの活動に工夫をしていく。当法人内にベトナム人の女性職員が働いており、女性ならではの悩みや心配事などの相談相手として交流をした。

⑤実務者研修の実施状況について

2021 年度の参加状況の説明を行う。本年は、20 名の受講生である。感染対策でスクーリングの 1 日をオンラインで実施している。大雨や台風でスクーリングの実施を検討することもしばしばある。休講をすることもあったため、9/19 スクーリング最終日の予定のところを、11/7 まで期間を延ばして対応しているところである。

⑥意見交換

コロナ禍の施設実習の受け入れ状況についてのご質問に対して、感染が広がっている地域の実習施設では受け入れが難しい場合もあるが、ほとんどの場合は、実習の受け入れをしていただいていると説明をした。久保田あけみ氏より、実習生によっては、思いが上手く伝わらずに指導者も悩むことがある。実習生の特徴も理解しながらの対応が必要とのご意見があった。感染対策として、実習生は実習前に広島県 PCR 検査事業を活用していただくことである。

学生の多い地域での実習施設の確保について、指導体制等がある施設の情報があるので協力ができるとのご意見があった。

就職後の同じ職場での継続についてのご質問に対して、コロナ禍以前は、同窓会の開催での情報交換もあったが、卒業後の職場についての調査はしていない。介護福祉士としての仕事は継続している。介護の仕事についているとのことで、次世代の育成として認識するということと理解する。

川原氏より「本社は、7 年で本校の卒業生を 20 名受け入れている。3 年未満での離職が 1 名であるとの紹介があり、継続状況は良好であると思う。」とのご意見があった。

久保田トミ子氏より国試対策についてのご質問に対して、1 年後期からの授業で対策や問題集を使用している旨、説明をした。「実務者研修を e ラーニングで自前でできるようにしている」との紹介があった。養成施設や実務者研修での国家試験の合格への対策フォローは必要である。

⑦まとめ

オンラインでも十分に介護の目的として本校の教育課程についてのご意見を伺うことができた。第 2 回もオンラインでの会議とする。県東部のより良い人材の育成に向けていきたい。今回のご意見をまた今後の教育に活かしていけるよう取り組んでいきたいと思っている。